

日本山岳会創立 120 周年  
グレート・ヒマラヤ・トラバース

日本山岳会東ネパール登山隊 2020  
East Nepal Expedition of The Japanese Alpine Club 2020

## 仮報告書



Pabukkang

主催：公益社団法人 日本山岳会

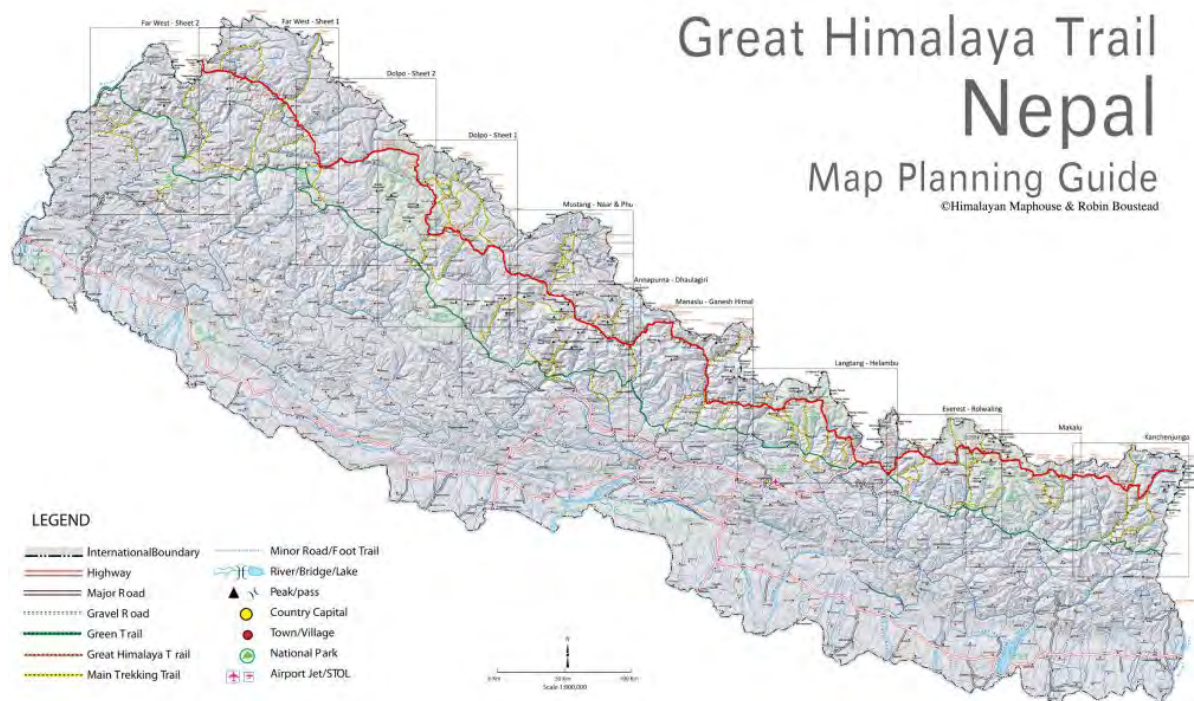
## 計 画 概 要

日本山岳会は 2025（令和 7）年に創立 120 周年を迎える。記念事業の一つとして、2020 年春から 2025 年秋にかけて実施する、グレート・ヒマラヤ・トラバース（カンチェンジュンガ～K2 までの約 5000km 踏査）を企画した。探検的ヒマラヤ登山の少なくなった現代にあつて、これまで 80 余年の長きにわたって日本山岳会や多くの登山家がおこなってきたヒマラヤ高峰登山の足跡を辿りながら、ヒマラヤ地域の人と自然とその生活の変遷、地球温暖化により縮小を続けるヒマラヤの氷河調査などもおこなう「温故知新」の踏査である。また、1 枚の地図から目的の山やコースを決め、自分たちの手で頂を極めるといふヒマラヤ登山本来の探検的登山を伝承する役割も担っていく。

グレート・ヒマラヤ・トラバースは、50 日前後で春・秋、年 2 回の実施を予定している。

### 第 I 期（2020 年春～2022 年秋）

カンチェンジュンガ～マカルー～エベレスト～マナスル周辺を通過し、西ネパールをインド国境に到るグレート・ヒマラヤ・トレイル（G・H・T）の踏査及び未踏峰・未踏ルート登頂



### 第 II 期（2023 年春～2024 年秋）

インド国内

### 第 III 期（2025 年春～秋）

パキスタン国内

**1st ステージ 2020 年春**

- 1 : 隊の名称 日本山岳会東ネパール登山隊 2020  
East Nepal Expedition of The Japanese Alpine Club 2020
- 2 : 派遣母体 (公益社団法人) 日本山岳会
- 3 : 目的 グレート・ヒマラヤ・トレイル カンチェンジュンガエリア踏査及び  
ネパール・チベット国境上の Pabukkang (6244m) 登頂
- 4 : 期間 2020 年プレモンスーン (2 月 29 日～5 月 16 日)

**5 : メンバー及び事務局**

重廣恒夫 (7931) 関西支部  
1947 年 10 月 11 日 (72 歳)  
〒651-0095 兵庫県神戸市中央区旭通 4 丁目 1 番 3 - 2301  
TEL : 090-3721-6259 E-mail : tsuneo.shigehiro@asics.com  
緊急連絡先 : 078-855-6667 重廣元子 (妻)

松田宏也 (11748) 千葉支部  
1955 年 12 月 28 日 (64 歳)  
〒285-0850 千葉県佐倉市西ユーカリが丘 5-12-4  
TEL : 070-4161-6038 E-mail : matsuhr01@gmail.com  
緊急連絡先 : 043-371-6427 松田千鶴代 (妻)

吉井 修 (12342) 首都圏  
1961 年 3 月 4 日 (58 歳)  
〒182-0017 東京都調布市深大寺元町 4-8-6 サンパール深大寺 205  
TEL : 090-3688-8161 E-mail : orewayaruzo@gmail.com  
緊急連絡先 : 0744-32-3440 藤田美津子 (妹)

**事務局**

伊丹紹泰 (7490) 首都圏  
〒143-0021 東京都大田区北馬込 1-23-11-201  
TEL : 090-8879-9870 E-mail : itami-ts@sc4.so-net.ne.jp

## 第1回グレート・ヒマラヤ・トラバース行動概要

グレート・ヒマラヤ・トラバース踏査の第1回目の実施については、新型コロナウイルスの感染動向で、入国後に登山活動禁止という最悪の事態も予想されたが、2025年までに完了する全体スケジュールの遂行を考えると躊躇することはできなかった。

2月29日、成田・関空よりカトマンズ空港に到着した。カトマンズでは装備・食料のピックアップ、ネパール観光省でのブリーフィングや両替、梱包作業で3日があっという間に過ぎた。

3月4日～5日、カトマンズからタプレジュンへチャーターバスで移動。食料や燃料の買い足しや、ポーターの雇い入れをおこなって、7日にタプレジュンよりキャラバンを開始した。タプレジュンからはカンチェンジュンガ周回トレッキングのメインコースを辿ったが、200万人の観光客を当て込んだ観光年も新型コロナウイルスのおかげで中止となり、自動車道の延伸やロッジの増改築がおこなわれていたにも関わらず、トレッカーの姿はなかった。そのためシェルパガオンを過ぎてからのロッジはまだ開いておらず、小屋番が我々と一緒に移動し小屋を開けてくれたが、我々が通過すると彼らは村に戻った。

3月20日、2020年春の期間のすべての登山隊の登山許可証の発行停止と活動停止、観光年のすべてのイベント中止と、帰国のために日本政府チャーター便が4月10日に運航されるとの情報がかトマンズのエージェントよりもたらされたが、我々は計画の続行を決定した。

ラムゼーやパンペマまでのトレッキングコース通行は特に問題はなく、南面からのカンチェンジュンガ、北面からのカンチェンジュンガを望むことができ、これから始まるG・H・Tのスタート地点に立つことが出来た。しかし、ツェラムからグンサまでのミルギン・ラやセレレ・ラなどの峠の通過やグンサからヤンマコーラまでのナンゴー・ラの通過は予想以上に残雪が多く、無雪期の倍以上の時間がかかった。

最奥の村ヤンマからのパブクカン（6244m）の登山は、4日間でネパール・中国国境に至り、標高5746mのガン・ラに到達して頂上に向かう予定であったが、昔からチベットとの交易路として使われていたヤク道は、深い雪に覆われてルートファインディングが難しく峠に到達することが出来なかった。（帰路ヤンマの村長に聞くと例年ガン・ラを通行するのは雪が完全に消えた7月以降とのこと）。そのために北に大きく迂回して稜線に登り頂上に向かったが、時間と装備不足によって途中から引き返す羽目となり、登頂はならなかった。

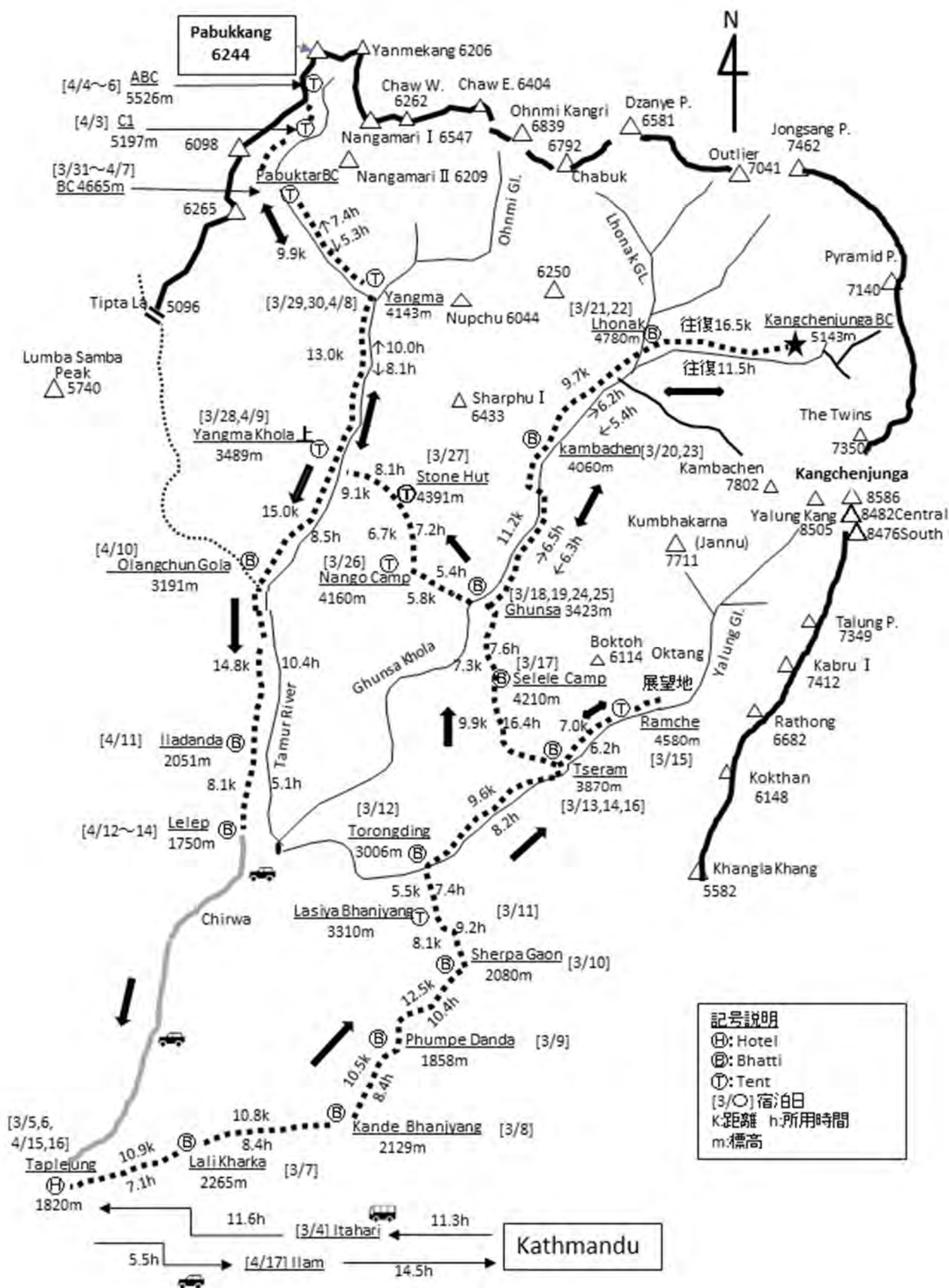
帰路、警察官の駐在するオランチュンゴラで新型コロナウイルスに関する情報は入手できなかったが、レレップの警察で都市間の移動禁止を知った。役場関係者の協力を得て4月15日、車でタプレジュンに戻ることが出来た。パソコンの使用が可能となったので在ネ日本大使館と連絡を取り合い、観光省の出先機関に必要な書類を提出することができた。通行許可証を入手した17日午後タプレジュンを出発し、イラムを経て18日ロックダウン下の閑散としたカトマンズに戻った。途中63回の検問があった。カトマンズでは外出禁止令に従ってエージェントの事務所に寝泊まりしロックダウンの解除と国際線の運行再開を待ったが、5月15日にネパール人向けの第1便のチャーター機でカトマンズを出発できた。16日朝、成田空港に到着しその日のうちにそれぞれの自宅に帰ることができた。

グレートヒマラヤトラバース1回目

No.	Day	Place	Height(m)	Time	Meal	
1	2月29日	NRT・KIX～ICN～Kathmandu	1300			ホテル泊
2	3月1日	Kathmandu	1300		Restaurant	準備 (カトマンズデポ等確認)
3	3月2日	Kathmandu	1300		Restaurant	準備 (食料・装備買出し)
4	3月3日	Kathmandu	1300		Restaurant	準備 (梱包・他)
5	3月4日	Kathmandu～Itahari	300	11.34	Restaurant	ホテル泊
6	3月5日	Itahari～Taplejung	1820	11.55	Restaurant	ホテル泊
7	3月6日	Taplejung	1820		Restaurant	キャラバン準備
8	3月7日	Taplejung/Lalikharka	2265	7.05	Bhatti	
9	3月8日	Lalikharka/Kande Bhanjyang	2129	8.41	Bhatti	
10	3月9日	Kande Bhanjyang/Phumpe Danda	1858	8.35	Bhatti	ママンケまで届かなかった
11	3月10日	Phumpe Danda/Sherpa Gaon	2080	10.40	Bhatti	ロッジが増築されていた
12	3月11日	Sherpa Gaon/Laslya Bhanjyang	3310	9.15	Bhatti	宿泊はテント
13	3月12日	Laslya Bhanjyang/Torongding	3006	7.43	Bhatti	ロッジが増築されていた
14	3月13日	Torongding/Tseram	3870	8.21	Bhatti	
15	3月14日	Tseram	3870		Bhatti	悪天のため停滞
16	3月15日	Tseram/Ramche	4580	6.15	Tent	
17	3月16日	Ramche/Tseram	3870	6.50	Bhatti	カンチェンジュンガ展望地往復
18	3月17日	Tseram/Selele Camp	4210	16.37	Bhatti	雪のミルギン・ラ、セレレ・ラ
19	3月18日	Selele Camp/Ghunsa	3423	7.55	Bhatti	ロッジが増築されていた
20	3月19日	Ghunsa	3423		Bhatti	
21	3月20日	Ghunsa/Kangbachen	4060	6.51	Bhatti	ロッジが増築されていた
22	3月21日	Kangbachen/Lhonak	4780	6.18	Bhatti	ロッジが増築されていた
23	3月22日	Lhonak/KanchenjungaBC/Lhonak	4780	11.48	Bhatti	パンペマ (5147m) 往復
24	3月23日	Lhonak/Kangbachen	4060	5.43	Bhatti	
25	3月24日	Kangbachen/Ghunsa	3423	6.30	Bhatti	NHK取材班に逢う
26	3月25日	Ghunsa	3423		Bhatti	洗濯・充電
27	3月26日	Ghunsa/Nangocamp	4160	5.36	Tent	小屋とトイレが建っていた
28	3月27日	Nangocamp/Stone Hut	4391	7.22	Tent	雪のナンゴラ (4776m) 越え
29	3月28日	Stone Hut/Yangma Khola Camping Site	3489	8.12	Tent	
30	3月29日	Yangma KholaCS/Yangma	4143	10.01	Tent	ヤンマの村は変わっていなかった
31	3月30日	Yangma	4143		Tent	休養日・充電
32	3月31日	Yangma/PabuktarBC	4665	7.35	Tent	
33	4月1日	PabuktarBC	4665		Tent	
34	4月2日	PabuktarBC	4665		Tent	
35	4月3日	PabuktarBC/C1	5197	5.32	Attack	
36	4月4日	C1/ABC	5526	6.01	Attack	
37	4月5日	ABC/ABC	5526	8.22	Attack	5798m往復
38	4月6日	ABC/ABC	5526	12.56	Attack	5920m往復
39	4月7日	ABC/PabuktarBC	4665	7.20	Tent	
40	4月8日	PabuktarBC/Yangma	4143	5.34	Tent	
41	4月9日	Yangma/Yangma Khola Camping Site	3489	8.05	Tent	
42	4月10日	Yangma KholaCS/Olangchun Gola	3191	8.51	Bhatti	ティプタ・ラから自動車道が出来ていた
43	4月11日	Olangchun Gola/Iladanda	2051	10.36	Bhatti	ネパール側の道路の最北端工事中
44	4月12日	Iladanda/Lelep	1750	5.12	Bhatti	
45	4月13日	Lelep	1750		Bhatti	隊荷乾燥
46	4月14日	Lelep	1750		Bhatti	隊荷仕分け
47	4月15日	Lelep～Taplejung	1820	5.31	Restaurant	隊員4駆・隊荷トラクター、ホテル
48	4月16日	Taplejung	1820		Restaurant	ホテル泊
49	4月17日	Taplejung～Ilam	1300	5.53	Restaurant	4駆・ホテル泊
50	4月18日	Ilam～Kathmandu	1300	14.50		4駆・コスモトレック
77	～5月15日	Kathmandu	1300			コスモトレック

※所要時間には休憩・昼食を含む





**記号説明**

- Ⓜ: Hotel
- Ⓜ: Bhatti
- Ⓜ: Tent
- [3/○]: 宿: 白日
- k: 距離 h: 所用時間
- m: 標高

日本山岳会東ネパール登山隊2020 会計報告

【収入の部】

項目	合計
個人負担金	3,000,000
本部助成金	1,000,000
寄付金	1,000,000
普通預金金利	1
合計	5,000,001

【支出の部】

項目	国内支出額	国外支出額	合計
装備費	119,986	406,344	526,330
食糧費	26,553	264,134	290,687
輸送費	33,300	289,146	322,446
都市部滞在費	0	133,766	133,766
キャラバン費	0	491,254	491,254
人件費	0	1,633,236	1,633,236
保険料	212,830	186,961	399,791
登山料	0	94,607	94,607
交通費	0	60,247	60,247
医薬品	8,036	0	8,036
航空券代	230,410	405,458	635,868
雑費	19,754	21,321	41,075
手数料	2,400	118,259	120,659
通信費	89,400	0	89,400
ビザ代	46,500	0	46,500
為替損	21,665	0	21,665
支出合計	810,834	4,104,733	4,915,567
手許現金残)	84,434	0	84,434
総合計	895,268	4,104,733	5,000,001

第2回グレートヒマラヤトラバース ( )						2020/9/8
No.	Day	P lace	Height	T ime	M eal	
1		KIX～Kathm andu	1300		Restaurant	
2		Kathm andu	1300		Restaurant	準備
3		Kathm andu	1300		Restaurant	準備
4		Kathm andu	1300		Restaurant	準備
5		Kathm andu ～Itahari	1300		Restaurant	
6		Itahari～Taplejung	1820		Restaurant	
7		Tap lejung	1820		Restaurant	隊荷整理
8		Tap lejung/M itlung	921	4時間	Bhatti	
9		M itlung/Ch iruwa	1270	7時間	Bhatti	
10		Ch iruwa/Sukethum	1576	7時間	Bhatti	
11		Sukethum /Iladanda	2051	5時間	Bhatti	
12		Iladanda/Selap	2525	6時間	Tent	
13		Selap/O langchun Gola	3191	6時間	Bhatti	
14		O langchun Gola	3191		Bhatti	休養
15		O langchun Gola/Cam psait e	3500	3時間	Tent	
16		Cam psait e/M aum a	4600	7時間	Tent	
17		M aum a/T ip tara Bhan jyang	5095	7時間	Tent	
18		T ip tara Bhan jyang/M aum a	4600	6時間	Tent	
19		M aum a/Cam psait e	3500	6時間	Tent	
20		Cam psait e	3500		Tent	休養
21		Cam psait e/Pass Cam p	4453	4時間	Tent	
22		Pass Cam p/Thudam	3556	7時間	Tent	
23		Thudam /Kharka	2820	7時間	Tent	
24		Kharka/Chyam tang	2187	5時間	Tent	
25		Chyam tang	2187		Tent	休養
26		Chyam tang/Hongon	2323	7時間	Tent	
27		Hongon/Bakim Kharka	3020	6時間	Tent	
28		Bakim Kharka/M olun Pokhari	3954	5時間	Tent	
29		M olun Pokhari/D hungge Kha	3590	7時間	Tent	
30		D hungge Kharka/Cave Cam p	3115	7時間	Tent	
31		Cave Cam p/Kalo Pokhari	4192	6時間	Tent	
32		Kalo Pokhari/Kharka	4097	7時間	Tent	
33		Kharka/Yangri kharka	3557	6時間	Tent	
34		Yangri Kharka	3557		Tent	休養
35		Yangri Kharka/Langm ale Kha	4410	4時間	Tent	
36		Langm ale Kharka/M akalu Bace	4870	4時間	Tent	
37		M akalu Bace Cam p/Sw iss Ba	5150	6時間	Tent	
38		Sw iss Bace Cam p/Sherpani C	5688	5時間	Tent	
39		Sherpani CoI B.C /Advance Ba	6050	7時間	Tent	
40		Advance Base Cam p/Honku B	5500	4時間	Tent	
41		Honku Bas in/Am phu Labsta	5527	5時間	Tent	
42		Am phu Labsta B.C /Chhukhur	4730	12時間	Bhatti	
43		Chhukhung/Tengboche	3860	8時間	Bhatti	
44		Tengboche/Nam che Bazar	3440	6時間	Restaurant	
45		Nam che Bazar/Luk la	2840	8時間	Restaurant	
46		Luk la	2840		Restaurant	隊荷整理・デボ
47		Luk la	2840		Restaurant	予備日
48		Luk la/Kharikhola			Restaurant	
49		Kharikhola/Dhap			Restaurant	
50		Dhap～Kathm andu	1300		Restaurant	車
51		Kathm andu	1300		Restaurant	整理・デボ
52		Kathm andu	1300		Restaurant	整理・デボ
53		Kathm andu ～KIX				

KTM	7日
Taplejung	9日
Bhatti	8日
Tent	28日